月刊 かわごえ環境ネット 2020

かわごえ環境ネット
20周年　持続可能な地球と川越へ→

2020年6月号 No.164　　https://kawagoekankyo.net

2020 年 6 月 2 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

2020 年度総会開催（5 月 23 日）

総会の様子

2020 年度かわごえ環境ネット総会が、5 月 23 日（土）10:00-10:30 に川越市役所地下食堂において、会員参加者 13 名、表決の委任者 98 名の計 111 名の出席により開催されました。議案は原案の通り承認され、役員の改選により理事 11 名と監事 2 名が決定しました。

（新役員紹介は 6-7 面）

夏の郊外クリーン活動（7 月 19 日）

7 月 19 日（日）9:30-11:30 川越市民聖苑やすらぎのさと周辺で「夏の郊外クリーン活動」を実施。参加申込 7 月 1 日（水）開始。（詳細 11 面）

目次

コラム	川越の自然をたずねて（86）謎を深めた川越のトンボー5 年間の記録	2-3
	川越の「宝」をたずねて（12）尾崎神社	3-4
	社会環境部会からの提言（16）新型コロナウイルスの影響から考える自然と社会の関係	5
報告	かわごえ環境ネットの活動報告（2 題）	6-8
	会員の活動（1 題）	8-9
	理事会・専門委員会（3 題）	9-10
予告	かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事（5 題）	11-12
	会員・関係団体の主催・関連行事（6 題）	12-14
	広報委員会からのおしらせ	14-15
	イベントカレンダー（6 月 3 日～8 月 8 日）	16

【コラム】川越の自然をたずねて（86）謎を深めた川越のトンボー5 年間の記録

チョウの後に続いて環境との関連が比較的明らかなトンボを対象にして市民調査を実施しました。しかし、トンボの専門家を発掘できなかったことと、チョウと違って移動速度が速く、観察場所も水辺や林、水田、水路と多様で簡単に調査できる状況になく、市民調査は残念な結果に終わりました。しかし、観察対象を広げることでこれまで見過ごされてきたトンボの行動が少しずつ明らかになってきています。県内でのトンボの歴史も振り返りながら川越のトンボについてこれまでにわかったことを報告します。

1. トンボ調査の歴史

埼玉昆虫談話会が作成した埼玉県昆虫誌（1998 年発行）によると、トンボの調査が本格的に始まったのは 1950 年代から 1960 年代にかけてです。1970 年代には、1978 年に長須房次郎氏によって埼玉県のトンボ相がはじめてまとめられ、「埼玉県動物誌」に「埼玉県のトンボ類」が発行されました。1980 年代には、新井裕氏による「埼玉県トンボ観察記」の発行があり、1990 年代は、昆虫同好会や研究会の活動が活発になり、東京トンボ研究会が発足し、「赤とんぼネットワーク」も行われ、寄居には新井裕氏による「トンボ公園を作る会」もできました。そして、1996 年にレッドデータブック（RDB）の刊行で、それまで記載のあったトンボの 1/3 を超える 34 種が絶滅危惧種としてあげられ、2018 年には 40 種類に増加しました。

埼玉県は、変化に富んだ自然地形で様々な水域環境が存在していますが、「ほとんどすべての種で生息環境は悪化しており」その傾向は県東部で顕著です。この地域では流水域も水質悪化や流路の整備で生息環境が悪化して姿を消したトンボもいます。また、台地から丘陵地・低山地帯にかけて大規模な開発や谷戸の埋め立てで生育環境が劣悪となって一部のトンボではほぼ絶滅状況に陥っています。その原因として、生息環境そのものの消失があります。この傾向は、湿地的な環境に依存しているトンボでは顕著で、低地でも湿地の乾燥化や土地開発で生息地域の消失が顕著です。また、流水性のトンボにも東部の河川環境の悪化が顕著で、西部にも表れており、生育可能な環境そのものが消失していると言えます。

2. 川越のトンボ

表 1　トンボの観察結果

種名	観察地点数	種名	観察地点数
シオカラトンボ	33	アジアイトトンボ	2
アキアカネ	18	ルリボシヤンマ	1
ウスバキトンボ	12	マユタテアカネ	1
ギンヤンマ	8	ヒメアカネ	1
ミヤマアカネ	7	ハラビロトンボ	1
ハグロトンボ	7	チョウトンボ	1
コシアキトンボ	4	シオヤトンボ	1
ナツアカネ	3	コフキトンボ	1
ノシメトンボ	2	コノシメトンボ	1
コヤマトンボ	2	クロイトトンボ	1
オオシオカラトンボ	2	カトリヤンマ	1
ウチワヤンマ	2	アオモンイトトンボ	1

定点調査と広域調査の結果、24 種類のトンボを観察することができました（表 1）。その中で最も多く観察できたのはシオカラトンボで、水辺だけでなく広い環境で見ることができました。ヤゴは、水田の用水路でも見ることができました。

図 1　アキアカネ

アキアカネは、福原で 2 年間移動の群れを観察しており、高地に行く途中に通ることが明らかになりました。秋には林や畑に戻り、冬にはいなくなります。水田で孵化し羽化するといわれていますが、川越での発生地は確定されていません。

ウスバキトンボは、秋になると一斉に北上していたる所で目にすることができます。長距離の飛行に適した体形で、止まらず群れて北上していきます。ヤゴは、冬の寒さに適応できずに

北国では越冬することができません。

ギンヤンマは止水生のトンボで、池で羽化しますが、その行動は意外と広く、市街地や林の中でも見ることができます。夏に雑木林で避暑しているギンヤンマと出会うことができました。

図 2　アオヤンマ（寺尾遊水地）

都市公園では修景池を作り、結果としてトンボを呼び込むことに成功しており、川越水上公園の池にはウチワヤンマ、コヤマトンボなどが見られます。一番のトンボの生息環境は安比奈親水公園で、カトリヤンマ、ヒメアカネの絶滅危惧種が生息し、イトトンボ類も見られ、多様な自然環境でトンボのサンクチュアリとなっています。このほか、寺尾遊水地では砂地と清流が必要なアオヤンマ（図 2）、水田や小河川に多いミヤマアカネ、ハグロトンボが今福の雑木林で観察され、飛行距離が短いトンボでも、夏には林に移動する行動が見られることがわかりましたし、トンボの生息を守るには、水辺とともに樹林地も合わせて守る必要があることを教えています。安比奈親水公園の自然小河川でのトンボ・ヤゴの調査（図 3、表 2）では、ハグロトンボ以外はこの水系でトンボを見ることはなく、逆にヤゴはおらず、トンボだけを見るのは不思議な気がします。

図 3　安比奈親水公園でのヤゴ調べ

表 2　ヤゴ調査結果

オナガサナエ
コオニヤンマ
ハグロトンボ
ホンサナエ
ミヤマサナエ

トンボは水辺と林を行き来し複数の環境を利用していると言われています。しかし川越市内でのその実態は、まだまだ知られていないことが多くあるようです。トンボと遊んだ子どもの記憶は遠い昔のこととなったのでしょうか。子どもの眼差しで今の時代の環境を見つめなおしてみてはいかが。　　（過昌司）

【コラム】川越の「宝」をたずねて（12）尾崎神社

コラム“川越の「宝」をたずねて”は、かわごえカフェ 2019 のテーマ、「川越（と周辺地域）の宝を掘りおこそう」で参加者のみなさんと作成した“川越のお宝マップ”の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は「尾崎神社」

笠幡にある尾崎神社の創建はつまびらかではありませんが、日本武尊が東征の折、尾崎の宮と称して、ここで戦勝祈願をしたことに始まると伝えられています。スギやヒノキの大木が並ぶ参道は、荘厳な雰囲気を漂わせる神域という印象を受けます。

尾崎神社のホームページによると、「奈良時代から今日に至るまで近隣住民の篤い信仰を受けている」と書かれています。その長い歴史を考えたとき、1300 年という“時”を繋ぎ、今に至

る尾崎神社は、川越の宝でありましょう。まだこの地が“川越”と呼ばれる前から鎮座し、時代の流れの中で変わらず存在してきたことを想像しながら拝殿までの参道を歩むと厳かな気持ちになります。

尾崎神社の社叢は、1986（昭和 61）年に埼玉県の「ふるさとの森」に指定され、2008（平成 20 年）に川越市の「保存樹林」に指定されています。幹周りが 3m を超えるスギや 2m を超えるスギ・ヒノキも多くあり、その大木の樹冠の下では、これから迎える夏の陽気がひんやりすることでしょう。

尾崎神社周辺には小畔川の遊歩道もあり、そこから足を延ばせばおいせ橋通りのサクラ並木、小畔水鳥の郷公園もあり、一日散策の一つとしてお勧めのパワースポットです。尾崎神社に足を運んだときには、ぜひ「本物」のサカキを探してみてください。今ではほとんどがヒサカキなのですが、拝殿横には、サカキの新芽が弓状になっていて、鋸歯がない葉をみることができます。

尾崎神社へのアクセスは、JR 川越線「笠幡駅」から徒歩 20 分。車の場合は、関越自動車道「川越 IC」より 18 分、圏央道「狭山日高 IC」より 20 分です。

（飯島希）

尾崎神社ホームページ（https://osaki.pw）

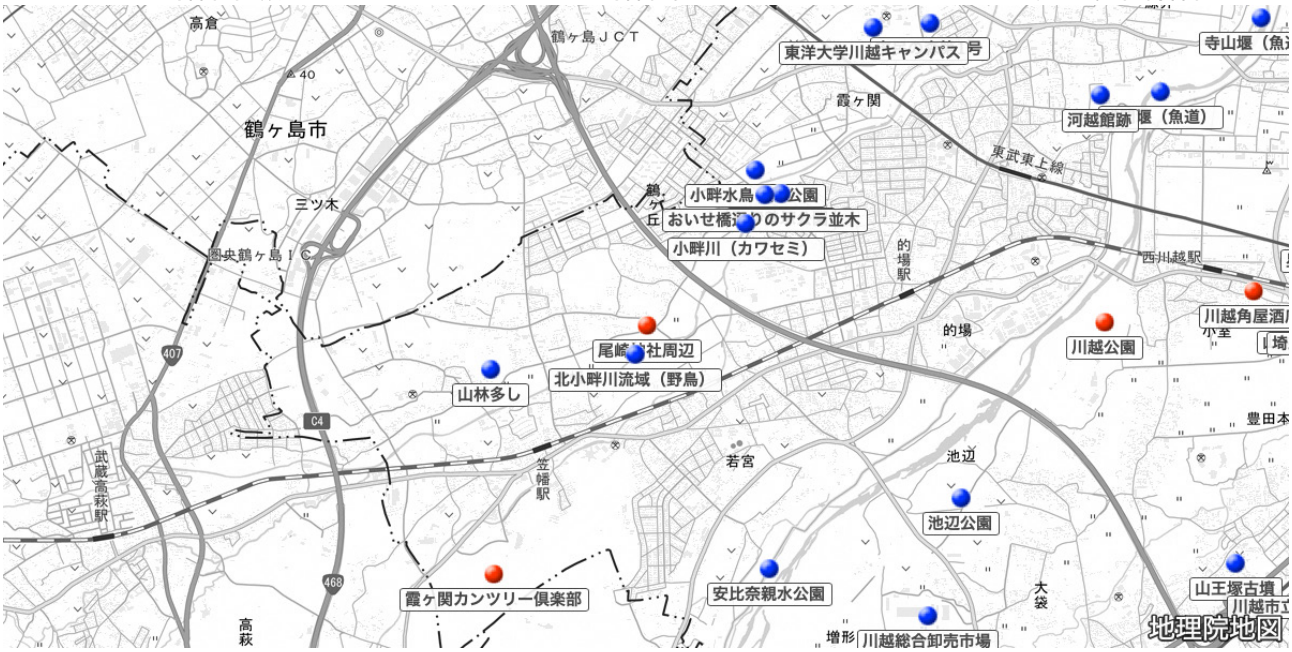
川越の「宝」全データの KML ファイル（ダウンロード）

参考文献
川越の自然－雑木林・河川・湧水・社寺林を訪ねて－」かわごえ環境ネット（2011）

尾崎神社拝殿

尾崎神社参道

境内にある伏見稲荷神社



尾崎神社周辺の川越の「宝」マップ（国土地理院の電子地形図（タイル）に地点を追記して掲載）

【コラム】社会環境部会からの提言（16）新型コロナウイルスの影響から考える自然と社会の関係

現在、世の中は数か月前より猛威を振るっている新型コロナウイルス（COVID-19）の話題一色ですが、5 月 23 日に限られた人数で実施されたかわごえ環境ネットの総会にて、副理事長および社会環境部会の代表を務めさせていただくことになりました増田知久です。

今回は、私たちの誰もが経験したことのないウイルスとの共存を模索する日々の中で、自然と社会の関係について 2 つほど考えたことを綴ってみたいと思います。

まずひとつめが、自然が居場所の防波堤になるのでは、ということです。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、緊急事態宣言が発出され、私たちの行動が制限されました。身近なところでは、観光客でいつもにぎわっていた蔵造りの通りや日夜人々の往来が絶えないクレアモール商店街では大半のお店が閉まり、人々が通りからいなくなりました。都市において、プライベートな空間は社会的な要請により、アクセスが制限され、それと同時に一時的ではありますが、居場所を失ってしまった人が多くいたことでしょう。僕自身も屋内での活動はなくなり、直接人と会う機会が激減しました。

他方、たまの気分転換としてマスクをつけながら、川越水上公園や伊佐沼、（仮称）川越市森林公園計画地などに散歩に行くことがありました。それぞれの場所では、虫を追いかける子供、釣りを興じるおじさん、草花をめでるおばあちゃんなど様々な人の姿をみかけました。もちろんこういった場所でも過度な接触や 3 密を避けるといった感染防止策は必要だと思います。ただ、そこで感じたのは、この期間、これまで以上に多くの人々にとって共有の空間である自然のオープンスペースが居場所になったであろうということです。

ふたつめは、自然がかたちづくる都市の境界についてです。新型コロナウイルスが感染を拡大していくたびに私たちは、これまでのグローバル化した社会では、普段あまり意識することのなかった国境や県境、市の境界など自分たちを取り囲む境界を意識するようになったと思います。それでは川越という都市の境界はというと、おおよそ北と東は入間川、西は小畔川、南はふるさとの緑の景観地に代表される雑木林によって特徴づけられています。また、蔵造りの町並みから川越駅周辺の中心市街地は、武蔵野台地の東端部に位置し、新河岸川に囲まれています。こうして見ますと、行政界が河川や地形や雑木林などにより形成されており、これらの自然の境界が私たちの住む都市を特徴づけています。

それでは、都市の境界が自然により形成されることの意味とはなんでしょう。確固たる正解がある問いではありませんが、僕が考えたのは次の 3 点です。都市の無秩序な開発を抑制すること、都市に住む人々にとって共通の場所の感覚を育むこと、そして生き物たちにとっては一定の生息地を確保する生態的な回廊（エコロジカル・コリドー）になるということです。

新型コロナウイルスがもたらしている社会的経済的な損失はとても大きく、これからの未来に対し不安を抱いてしまうこともありますが、今回改めて私たちが生活を営む都市と自然のつながりを見直すよい機会にもなりました。ポストコロナ社会において、自然との関係を大切にする生活様式を築いていければと思います。

（増田知久）

◆かわごえ環境ネット会員募集　会員を随時募集しています。本会は、川越の環境をよくしたいと活動する個人・団体（民間団体・事業者）が集う団体です。毎月本紙をお送りするなどの特典があります。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円。詳細は、かわごえ環境ネット事務局か Web サイト（https://kawagoekankyo.net）へ。

【報告】かわごえ環境ネットの活動

新役員の紹介

新役員及び事務局の集合写真（2020 年 5 月 27 日理事会にて）

5 月 23 日に開催された 2020 年度総会において役員（理事 11 名、監事 2 名）が決定し、理事の互選により理事長と 2 名の副理事長が決定しました。また、5 月 27 日に開催された 2020 年度第 3 回理事会で各理事の担当が決定しました。この役員で 2 年間運営してまいります。よろしくお願いいたします。各役員（及び事務局）の氏名、担当：抱負を記します。

左手前から

飯島希（いいじまほまれ）、広報：川越に暮らして 22 年、川越の人や街、それに歴史も大好きです。暮らし・にぎわい・環境が調和する持続可能な川越になるよう努めたいと思います。

増田知久（ますだともひさ）［新理事］、副理事長・社会環境部会（代表）：持続可能な社会をこどもたちに！　川越の自然の魅力を少しでも多くの方に届けていけるようなアクションをしていきます。

小瀬博之（こせひろゆき）、理事長・広報：副理事長 4 年、理事長 16 年と、かわごえ環境ネットを我が子のように見守ってきました。いよいよ大人、そして若返りの本会にご期待ください。

横山三枝子（よこやまみえこ）、副理事長・自然環境部会：老後の新しい生活が農業とつながり、環境との接点が多いことがわかりました。ネットワークや地元のコミュニティを大事にして、活動したいと思います。ご一緒に。

賀登環（かどたまき）、自然環境部会（代表）：光陰矢の如し、私自身の環境ネット会員歴も 20 年になりました。その間、川越の街はきれいになりましたが、異常気象、緑の環境の喪失は進行しています。若返った新理事とともに努力したいと思います。

左奥から

高橋宗人（たかはしむねと）、庶務：「魅力ある街 川越」を環境の分野から創造・発信していくため、様々な施策を展開してまいります。

小笹裕（おざさひろし）［新理事］、渉外：川越環境保全連絡協議会からの参加となります。よろしくお願いいたします。

渡辺利衛（わたなべとしえ）［新監事］、監事、かわごえ環境ネットに長い間お世話になりましたので、最後の奉公で、監査の役目を宮﨑監事とともに務めます。

宮﨑誠（みやざきまこと）、監事：今年度で 3 期目（5 年目）の監事担当です。社会環境部会活動の活性化と皆様の関心のあるテーマで講演会を開催します。

石川真（いしかわしん）［新理事］、社会環境部会：川越の郊外で生まれ、自然・農業が身近にありました。川越の農業団体川越 Farmer's Market の代表も務めています。活動に積極的に参加していきたいと思います。

菊地三生（きくちみつお）、広報・渉外：環境ネットの活動と仕事の両立を図りながら理事を務めさせていただきます。季節ごとに行う年 4 回

のクリーン活動にご支援をよろしくお願いいたします。

安藤裕貴（あんどうゆうき）、広報：「生物多様性」は、若い方にはわからないことが多いので、みなさまにできるだけわかりやすく広報したいと思います。

中村正幸（なかむらまさゆき）[新理事]、社会環境部会：ネットワーク組織としての強みを生かしつつ多様な社会課題を視野に入れ、この郷土川越の地から、よりよき環境・社会へと少しでもつなげていければと考えています。好きな言葉は、「ウェルビーイング」です。

馬渡開（まわたりかい）、事務局（橋本光司、山本陽二との 3 名で担当）：今年度で 4 年目となりました。庶務・会計事務について、迅速かつ適切な対応を心がけます。

池辺公園の春　　自然環境部会

クヌギの新芽と雄花

イボタノキの花（5 月下旬）

周辺の河畔　未だに不法投棄が絶えない

池辺公園のマップ

池辺公園は入間川流域、八瀬大橋の近くにあり、面積 1.3ha の小さな雑木林です。その昔、くぬぎ山がダイオキシン問題で全国的にニュースになっていたころ、その産業廃棄物が一部八瀬大橋河畔に運びこまれていたという情報もありました。そこかしこにごみ山ができ、明らかに不法投棄ごみの捨て場になっていました。いまではほとんどが撤去されていますが、一部ごみ山が残っています。

このような背景の中で、2008（平成 20）年に川越市により公園化されました。埼玉県生態系保護協会による 2007（平成 19）年の基本調査でキツネノカミソリ、ハグロソウなどの絶滅危惧種があることがわかり、開園当初からこれらを保護育成するために自然環境部会が協力することになり、今日に至っています。

また、造園業者の方が草刈り作業時にアズマイチゲの生息を発見され、川越ではこれまで確認がなく珍しい種ですので、合わせて保護することになりました。

八瀬大橋から道路を入間川の下流に向かうと、すぐにこんもりとした林が目に入ります。これが池辺公園です。樹木はクヌギがとても多く、コナラは少数派です。3 月中旬になると青い空にちょっと渋い色合いのクヌギの雄花がいっぱい垂れ下がり、「また、今年も春が来た。」と感

じる瞬間です。冬の間茶色だった空間が、次々と色づいてきて、4 月中旬には林冠はほぼ緑に覆われます。この林はずっと昔は入間川の氾濫があったと思われます。今でも水を好む植生が見られ、エノキ、イボタノキなどが多くあります。福原地区の乾燥気味の雑木林には見られない植生です。また、ニセアカシア（ハリエンジュ）が道路沿いに多いのも特徴です。5 月下旬からの開花期は、よい香りが漂います。

自然環境部会ではこれまで 10 年ほど調査保全活動を続けてきましたが、植物データを下記に報告いたします。あまり多くはありませんが、他にないものもあり大切にしたい場所です。

池辺公園周辺はモトクロスやサバイバルゲーム場、サッカーコートなどに利用されており、採石場へのダンプの出入りも多く、かなりほこりっぽく、荒れた雰囲気です。さらに一時は不法土砂堆積もありました。このような中で池辺公園はオアシスのような場所です。「コロナ」の影響か、最近は散策に訪れる方も多くなりました。

（賀登環）

池辺公園の植物調査　（2020 年 5 月現在）

草本								木本	
1	アオイスミレ	40	キチジョウソウ	79	チヂミザサ	117	ヒヨドリジョウゴ	1	アオキ
2	アオカモジグサ	41	キツネアザミ	80	ツボミオオバコ	118	ヒルガオ	2	アオハダ
3	アオスゲ	42	キツネノカミソリ	81	ツユクサ	119	ブタクサ	3	アケビ
4	アオツヅラフジ	43	キツネノマゴ	82	ツルボ	120	ヘクソカズラ	4	イボタノキ
5	アカネ	44	ギボウシ	83	トウバナ	121	ヘビイチゴ	5	ウワミズザクラ
6	アキカラマツ	45	キュウリグサ	84	トキワハゼ	122	ヘラオオバコ	6	エノキ
7	アキノタムラソウ	46	キランソウ	85	ドクダミ	123	ホソムギ	7	ガマズミ
8	アキノノゲシ	47	キンミズヒキ	86	トボシガラ	124	ホタルブクロ	8	カマツカ
9	アズマイチゲ	48	クサイチゴ	87	ナズナ	125	ホトケノザ	9	キヅタ
10	アマナ	49	クサノオウ	88	ナヨクサフジ	126	マスクサ	10	クコ
11	アメリカフウロ	50	クズ	89	ナンテンハギ	127	ママコノシリヌグイ	11	クサボケ
12	イタドリ	51	コオニタビラコ	90	ニガクサ	128	マメグンバイナズナ	12	クヌギ
13	イヌシダ	52	コオニユリ	91	ニガナ	129	マルバルコウソウ	13	コナラ
14	イヌワラビ	53	コスミレ	92	ヌカキビ	130	ミズヒキ	14	コマユミ
15	イノコズチ	54	コセンダングサ	93	ヌスビトハギ	131	ミゾイチゴツナギ	15	シラカシ
16	ウシハコベ	55	コナスビ	94	ネコハギ	132	ミチタネツケバナ	16	スイカズラ
17	ウバユリ	56	コバギボウシ	95	ネジバナ	133	ミドリハコベ	17	チャ
18	エナシヒゴクサ	57	コメツブツメクサ	96	ネズミムギ	134	ムラサキカタバミ	18	ニガキ
19	オオイトスゲ	58	ジャノヒゲ	97	ノカンゾウ	135	ムラサキケマン	19	ニシキギ
20	オオイヌノフグリ	59	ショカツサイ	98	ノビル	136	ムラサキサギゴケ	20	ニセアカシア
21	オオジシバリ	60	シロイトスゲ	99	ノボロギク	137	ムラサキツメクサ	21	ニワトコ
22	オオスズメノカタビラ	61	シロツメグサ	100	ノミノフスマ	138	メヒシバ	22	ノイバラ
23	オオバコ	62	スイバ	101	ハエドクソウ	139	メマツヨイグサ	23	ノブドウ
24	オオバジャノヒゲ	63	スギナ	102	ハキダメギク	140	ヤエムグラ	24	ヒサカキ
25	オオブタクサ	64	ススキ	103	ハグロソウ	141	ヤブガラシ	25	ヒメコウゾ
26	オッタチカタバミ	65	スズメノカタビラ	104	ハコベ	142	ヤブカンゾウ	26	マユミ
27	オニスゲ	66	スズメノテッポウ	105	ハナダイコン	143	ヤブジラミ	27	ミツバウツギ
28	オニタビラコ	67	スズメノヤリ	106	ハナニラ	144	ヤブタビラコ	28	ムクノキ
29	オニトコロ	68	スミレ	107	ハルジオン	145	ヤブニンジン	29	ヤマウコギ
30	オニノゲシ	69	セイタカアワダチソウ	108	ハルノゲシ	146	ヤブヘビイチゴ	30	ヤマコウバシ
31	オヘビイチゴ	70	セイヨウカラシナ	109	ヒカゲスゲ	147	ヤブミョウガ		
32	オヤブジラミ	71	セイヨウタンポポ	110	ヒガンバナ	148	ヤブラン		
33	オランダミミナグサ	72	セリバヒエンソウ	111	ヒゴクサ	149	ヤマノイモ		
34	カキドオシ	73	センニンソウ	112	ヒメオドリコソウ	150	ヤワラスゲ		
35	カタバミ	74	タケニグサ	113	ヒメカンスゲ	151	ユウゲショウ		
36	カラスノエンドウ	75	タチイヌノフグリ	114	ヒメトコロ	152	ヨメナ		
37	カラムシ	76	タチツボスミレ	115	ヒメムカシヨモギ	153	ヨモギ		
38	カントウタンポポ	77	タネツケバナ	116	ヒメヤブラン	154	ワルナスビ		
39	ギシギシ	78	ダンドボロギク						

【報告】会員の活動

今年もストロベリーキャンドルが満開になりました NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

今年も 5 月の連休に、緑肥としてのストロベリーキャンドルが満開になりました。

例年ですと福田の田んぼは、ストロベリーキャンドルピクニックで地元の方々や会員家族でにぎわっていましたが、今年は呼びかけができず、個々にピクニックを楽しんでもらいました。

ストロベリーキャンドルは福田の田んぼだけではなく、山田、府川、小仙波といった川越の農村地帯の田んぼに拡がりを見せつつあります。

また、田んぼ地域は、セリやヨモギといった

野草が豊富で、農薬を使わない地域なので食用にすることができます。このように、かわごえ里山が活動する地域は、田園風景や野草といった昔からの普通の暮らしにあった自然環境が戻りつつあり、田んぼが米作りだけではない価値を提供しています。　（増田純一）

福田のストロベリーキャンドル田んぼの全景

ストロベリーキャンドル田んぼで遊ぶ子どもたち

【報告】理事会・専門委員会

理事会

5 月 27 日（水）9:30-10:00 に第 1 回事業運営委員会、10:00-11:10 に第 3 回理事会を開催いたしました。4 月の 2 回は、緊急事態措置の発出により事業運営委員会は中止、理事会は書面審議となりましたので、今年度の会合は初めて、また、総会後の新体制で初めての会合となりました。まとめて報告いたします。理事会は全員出席となりました。

事業運営委員会

委員を次の通り定めました。委員長：小瀬博之、副委員長：横山三枝子、会計：賀登環、委員：増田知久、飯島希、菊地三生、中村正幸。

この委員会は、過去に理事以外でも委員になっていたという経緯があるので、委員公募を行うことにしました。なお、この委員会は、川越市環境行動計画推進委員会（旧かわごえアジェンダ 21 推進委員会）、かわごえ環境フォーラム実行委員会、設立 20 周年記念事業実行委員会の内容を包含する位置づけとしました。

管掌する全体事業の計画について検討しました。主な内容は次のとおりです。

6 月 7 日（日）実施予定の「川の一斉水質調査」は、荒川流域は各自で分散して、新河岸川流域は会場で実施する予定で実施する予定となりました。

7 月 19 日（日）に実施予定の「夏の郊外クリーン活動」は、実施する方向で準備を進めることにしました。新型コロナウイルスの感染症対策を十分にすることを確認しました。

10 月 4 日（日）に開催が予定されている「2020 アースデイ川越 in 昭和の街」の出展については、実行委員会に参加している小瀬から主催者の話し合いの状況を報告しました。SDGs をテーマとして主に子ども向けにできることを検討することにしましたが、まだ実施方法が決定していないので、今後の状況を見て検討することになります。

10 月 17 日（土）・18 日（日）に開催が予定されている「川越まつり」における会場クリーン活動は、開催を検討中のため実施未定です。

「歳末まち美化活動」は、今年度は第 3 日曜日（12 月 20 日）に実施することになりました。

「第 19 回かわごえ環境フォーラム」は 2 月 27 日（土）か 28 日（日）に開催予定で、会場の予約が 8 月 1 日からとなるため、7 月の事業運営委員会において、社会状況を皆が開催の有無

を改めて検討することにしました。

懇親会は当面自粛することにしました。

川越市環境行動計画「環境に配慮した行動チェックシート」は、大学授業や会員に対してインターネットでの実施をメインに検討します。

理事会

改選に伴う新理事の役割分担を決定しました。詳細は、6 ページをご覧ください。

4 月 8 日に制定した「新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針」について改定案を示し、理事会の意見を伺った上で 5 月 27 日に改定しました。

個人会員 2 名が入会、団体会員 1 名が退会し、5 月 27 日の会員数は、個人 139、民間団体 24、事業者 26、行政 1 の合計 190 会員となりました。

事務局より、川越市（環境政策課）で 8 月 5 日（水）午前に実施予定の市民環境調査「まち歩き暑さ測定ツアー」への協力要請がありました。　（小瀬博之）

社会環境部会

2020 年 5 月の社会環境部会例会は、新型コロナウイルス対策の首都圏の緊急対策の延期が発令され、引き続きの外出自粛などの要請に従い、事務局等とも連絡を取り、前日の 7 日に翌 8 日の例会中止を決め、代表から会員に次期代表の選出について審議してもらうことにし、代表が連絡を取ってまとめることにしました。

6 月例会は 6 月 12 日（金）13:00 からを予定しています。増田知久新代表と中村正幸副代表の司会進行で活動が始まります。

（社会環境部会前代表　武田侃蔵）

自然環境部会

5 月例会は 8 日（金）福田ビル 3 階にて 6 名の参加で開催されました。コロナのご時世ですのでマスクをし、席は間をあけて 1 時間ほどで終了しました。

1. 活動報告

イベントは 2 月後半からの自粛対策でみな中止になり、5 月 10 日（日）「春の里山自然観察＆クリーン活動」も中止です（追記：当日はスタッフ 4 名で林内クリーンをしました）。

①「（仮称）川越市森林公園」計画地定例活動
4 月 13 日（月）、4 月 27 日（月）中止

②池辺公園定例活動　5 月 12 日（火）　6 名参加　植物調査イボタノキ、カマツカ、マユミなどの花が咲いている　別ページ参照

2. 協議事項

今年度の事業計画について　新型コロナウィルス対策のためイベントは実施が見通せないが、状況によって判断する。生き物調査については、地域を検討し川越全体を視野に入れて地道に実施することを話し合った。5 月 15 日（金）伊佐沼周辺田んぼの植物調査、5 月 30 日（土）「（仮称）川越市森林公園」計画地の昆虫調査など。

（自然環境部会代表　賀登環）

予告の掲載に際して重要なおしらせ

新型コロナウイルスの感染状況により行事開催の変更・延期・中止等が発生しています。かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページ（https://kawagoekankyo.net）でお伝えします。会員団体等の行事についても、情報が入ればホームページに掲載いたしますが、参加しようとする前に問い合わせ先にご確認ください。

【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事

【トピック①】「夏の郊外クリーン活動」7 月 19 日（日）開催

かわごえ環境ネットでは、年に 4 回のクリーン活動をしております（今年の春は中止）。夏は 7 月 19 日（日）に活動を行います。

日時：7 月 19 日（日）9:30-11:30

場所：川越市民聖苑やすらぎのさと（川越市小仙波 867-1）

参加申込：7 月 1 日（水）10:00 から電話で環境政策課（Tel.049-224-5866）

かわごえ環境ネット担当者：菊地（Tel.080-5546-2362、E-mail：kikums@beige.ocn.ne.jp）

【トピック②】事業運営委員会・広報委員会委員公募

かわごえ環境ネットでは、会員を対象に委員を公募しています。応募される方は、7 月 13 日（月）までにかわごえ環境ネット事務局または委員長の小瀬まで直接ご連絡ください。

1. 事業運営委員会

事業運営委員会は全体事業、「川越市環境行動計画」の推進、設立 20 周年記念事業を管掌しています。毎月 1 回の理事会の前（水曜日 9:00-10:00 が標準）に会議を行っています。

2. 広報委員会

毎月第 1 水曜日の 9:00-10:00 に会議（目次の検討）実施しています。当面、オンライン会議を実施します。なお、記者、編集者（Word 使用）、印刷・発送者についても募集しています。

【トピック③】新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針

かわごえ環境ネットでは、新型コロナウイルス感染拡大を防止するために次のような行動方針を定めました。

1. 会員対象の会合は、3 つの「密」（1.換気の悪い密閉空間、2.多数が集まる密集場所、3.間近な会話や発生をする密接場面）を避けて、形態を十分に検討した上で実施することができる。
2. 不特定多数の人が集合して実施する屋内での活動は実施しない。
3. 飲食を伴う交流事業は実施しない。
4. 屋外での活動は、接触感染と飛沫感染が起こらないようマスクを着用するなど、十分に留意及び注意喚起して実施することができる。
5. 実施日に埼玉県や川越市から不要不急の外出自粛要請が出されている場合は、原則として予定されている活動を中止する。
6. 不測の事態に備えて、参加者の身元がわかるよう、活動において参加者の氏名や連絡先の確認、記録を確実にする。また、本会の連絡先（事務局）を参加者に確実に伝える。
7. 本会の活動または関係する活動等において、感染症が発生したと疑われる事実が判明した場合、関係する活動を一定期間中止する。
8. この行動方針は、期間を定めずに当面の間実施する。また、政府や埼玉県、川越市の通達や社会状況の変化に合わせて随時改訂する。

2020 年 4 月 8 日制定
2020 年 5 月 27 日更新
かわごえ環境ネット理事長
小瀬博之

自然環境部会主催事業

★「(仮称) 川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時：6 月 8・22 日、7 月 13・27 日（月）9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動（毎月第 2 火曜日、変更の場合もあります）

日時：6 月 9 日・7 月 14 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

会合

【重要】新型コロナウイルス感染状況により会議方法、会場変更、時間短縮などの対応を行うことがあります。

●社会環境部会（2020 年 6 月度）

日時：6 月 12 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

＊次回は 7 月 10 日（金）13:00-15:00 川越市役所 7 階 7D 会議室

＊会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会（2020 年 6 月度）

日時：6 月 12 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

＊次回は 7 月 10 日（金）15:00-17:00 川越市役所 7 階 7D 会議室

＊会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会（2020 年度第 2 回）

日時：6 月 17 日（水）9:00-10:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊次回は 7 月 15 日（水）9:00-10:00 川越市役所地階修養室

◆理事会（2020 年度第 3 回）

日時：6 月 17 日（水）10:00-12:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊次回は 7 月 15 日（水）10:00-12:00 川越市役所地階修養室

◆広報委員会（2020 年 7 月度）

日時：7 月 8 日（水）9:00-9:30

場所：オンラインミーティング

＊次回は 8 月 5 日（水）9:00-9:45 川越市役所 5 階フリースペースの予定

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

日時：　①6 月 13 日（土）9:30-12:30 ごろ

　　②7 月 11 日（土）9:30-12:30 ごろ

場所：明見院（今福 677）近く

内容：農作業（B 級品のお土産付き）

会費：クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

予定表

月	日	活動内容予定
6	13	トウモロコシ畑
7	11 未定	トウモロコシ畑の片づけ 14:00 からトウモロコシ畑
8		（お休み）
9	12	ブロッコリー、キャベツ畑の片付け

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環（Tel. 049-234-9366）

当会では、小畔川の八幡橋下流域の定点調査を中心に魚類や水生昆虫などの調査を続けています。いつも何かしら発見があり面白いです。ウェダーや網などは当会で用意いたします。

◎鎌取橋魚類調査

日時：7 月 26 日（日）10:00-12:00

ここは欄干のない木の橋で護岸は土羽、自然度が高いです。ガサガサや投網で魚類調査をします。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 金曜日

日時：6 月 19 日（金）・7 月 7 日（火）・17 日（金）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：6 月 14 日・7 月 12 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第 4 土曜日

日時：6 月 27 日・7 月 25 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9:00 より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

①6 月 28 日（日）9:00 新河岸川下流、旭橋右岸たもと集合。扇橋から川崎橋まで分担で上下流の両岸清掃。11:00 旭橋左岸空き地に分別収集して解散予定。

②7 月 26 日（日）9:00~11:00 新河岸川上流（旧赤間川）東明寺橋左岸公園内集合。宮下橋まで清掃。北公民館裏で分別収集。解散。

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623）
ホームページ http://kawagoesatoyama.ciao.jp/

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米作りをしながら田園風景の保全や地域コミュニティ作りを行っています。入会は随時受け付けております。hatsukarinosato@googlegroups.com にお問い合わせください。

Web サイト　Facebook ページ　Twitter

東洋大学小瀬研究室（川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）
こもれびの森・里山支援隊 http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/

【おことわり】新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、川越キャンパスは入構禁止となっております（6 月 3 日現在）。また、8 月 5 日までの本学主催の各種行事・会議・イベント等を中止または延期を検討することになっています。つきましては、7 月までの活動を休止することにしました。

＊Web サイト（組織概要・東洋大学「こもれびの森」植物図鑑ダウンロードなど）
https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/

＊Facebook ページ（最新の活動報告）
https://www.facebook.com/komorebisatoyama

＊Twitter（中止連絡などの緊急告知）
https://twitter.com/toyokomorebi

Web サイト　Facebook ページ　Twitter

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部
問い合わせ：内野（Tel.049-222-1731）、当日の携帯電話連絡（Tel.090-7003-8617）

◎伊佐沼でバードウオッチング

（毎月第 2 日曜日、雨天中止）

集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや
持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物
参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

①6 月 14 日（日）10:00-12:00

カルガモ、カイツブリの雛連れは、誰もがほほえみます。アジサシが沼に飛び込んでエサを採ります。

②7 月 12 日（日）10:00-12:00

ピンクの古代蓮の花が咲き始め、カイツブリやカルガモの雛は元気に育っています。暑くなりましたが暑さに負けずに観察します。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2020 年 7 月号（No.165，7 月 1 日発行予定）の掲載原稿は、6 月 15 日（月）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●入稿に際してのお願い

編集をより効率的に進められるよう、入稿の際に次の事項にご協力いただければ幸いです。

①所定のテンプレートに入力を

Word 形式のテンプレートを用意しています。そちらを使っていただけると効率的に編集ができます。入用の方は広報委員会にご連絡ください（koho@kawagoekankyo.net）。

②文字の入力方法を統一的に

英数字はすべて半角で入力をお願いします。「()」「:」は原則として全角を用いていますが、英文や時刻表示の「:」は半角を用いています。

③図表や写真にはタイトルをつけて

読者が状況を把握するのに役立ちます。

④画像は添付ファイルで提出を

長辺を「800 ピクセル」程度にサイズを小さくした上で、ファイルを別途添付して提出してください。Word に貼り付けずにタイトルがわかるようにしていただければレイアウトします。

⑤原稿の入稿期限（毎月 15 日）にご協力を

原稿が揃わないと効率よく作業できません。早期の発行にご協力ください。

●かわごえ環境ネット会員限定メールサービス

かわごえ環境ネット会員限定で、本紙並びに同封資料のメールでの送付（またはリンク）サービスを実施しています。

希望の方は、かわごえ環境ネット事務局（kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）にメールで件名を「かわごえ環境ネット会員メールサービス希望」として、会員氏名（団体名称）と送付を希望するメールアドレス（添付ファイルの最大容量は 5MB 以上を推奨）をおしらせください。同時に会員になられる方は、入会申込を同時にお願いいたします。

メールサービス受付

★かわごえ環境ネット Web サイト

会員に送付及び公民館等で配布している紙版は、モノクロの孔版印刷のために画像がつぶれてしまい、判別がつきにくい状況です。本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。鮮明な画像で本紙をお楽しみください。

https://kawagoekankyo.net

https://www.facebook.com/kawagoekankyonet

★かわごえ環境ネットソーシャルメディア

①Twitter

本会 Twitter（@kawagoekankyo）は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。

https://twitter.com/kawagoekankyo

②Facebook ページ

本会は、Facebook でも積極的に情報発信しています。かわごえ環境ネットからのおしらせだけでなく、イベント等の報告も逐次行っています。本紙で掲載されない速報もあります。Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を行って「いいね！」してください。

○2020 年 8 月 5 日は設立 20 周年記念日

かわごえ環境ネットがやまぶき会館を満席にする中で設立総会を開催したのは 2000 年 8 月 5 日でした。当時のことは、広報川越 No.994（平成 12 年 11 月 10 日）に『「かわごえ環境ネット」始動』として 4 ページにわたる特集で掲載されています。20 周年を前にぜひご覧ください。

2000 年 11 月 1 日現在の会員は個人 64、民間団体 39、事業者 24、行政 1 の 128 会員でした。現在は、個人会員が 2 倍以上、民間団体が 4 割減です。

広報川越 No.994（平成 12 年 11 月 10 日）
（PDF ファイル 4180KB）

○おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（6 月 3 日～8 月 8 日）

新型コロナウイルスの感染状況により行事開催の変更・延期・中止等が発生しています。かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページでお伝えします。会員団体等の行事は主催者にご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 ○：その他　詳細は個別の記事をご覧ください			6/3 ◆9:00 広報委員会	6/4	6/5	6/6
6/7 ○川の一斉水質調査（非公開行事）	6/8 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	6/9 ★9:00 池辺公園定例活動	6/10	6/11	6/12 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	6/13 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
6/14 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	6/15 ○本紙 7 月号投稿期限	6/16	6/17 ★9:00 事業運営委員会 ★10:00 理事会	6/18	6/19 ◎13:30 まち美化啓発運動	6/20
6/21	6/22 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	6/23	6/24	6/25	6/26	6/27 ◎13:30 まち美化啓発運動
6/28 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3	7/4
7/5	7/6	7/7 ◎13:30 まち美化啓発運動	7/8 ◆9:00 広報委員会	7/9	7/10 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	7/11 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
7/12 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	7/13 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	7/14 ★9:00 池辺公園定例活動	7/15 ★9:00 事業運営委員会 ★10:00 理事会 ○本紙 8 月号投稿期限	7/16	7/17 ◎13:30 まち美化啓発運動	7/18
7/19 ★9:30 夏の郊外クリーン活動	7/20	7/21	7/22	7/23 海の日	7/24 スポーツの日	7/25 ◎13:30 まち美化啓発運動
7/26 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎10:00 鎌取橋魚類調査	7/27 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地植物調査・保全活動	7/28	7/29	7/30	7/31	8/1
8/2	8/3	8/4	8/5（20 周年） ◆9:00 広報委員会 ◎10:00 市民環境調査「まち歩き暑さ測定ツアー」	8/6	8/7	8/8

発行日　2020 年 6 月 3 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　https://kawagoekankyo.net/